

4. 活動報告

4.1 都市防災研究協議会（経済）

都市や産業集積地で発生する大規模災害によってもたらされる経済的な影響についてシナリオとして把握することにより、災害対応や復興施策の前提条件を明らかにするとともに民間部門におけるBCPなどで考慮すべき経済的な脆弱性について検討する。

4.1.1 第4回都市防災研究協議会（経済）

開催日時：平成25年7月30日（火）14:00～16:00

開催場所：全国町村会館 第三会議室

議事次第・発表者

- ① 京都大学防災研究所 教授 林 春男
「挨拶ならびに検討会の趣旨」
- ② 株式会社日本総合研究所 調査部 星 貴子
「東日本大震災にみる地域密着型金融の課題」
- ③ 全体討議

4.1.2 第5回都市防災研究協議会（経済）

開催日時：平成25年11月20日（火）14:00～16:00

開催場所：関西大学東京センター

議事次第・発表者

- ① 関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科 准教授 永松伸吾
「挨拶ならびに検討会の趣旨」
- ② 早稲田大学大学院ファイナンス研究科 教授 森平爽一郎
「巨大都市災害リスクと資本市場」
- ③ 全体討議

4.1.3 第6回都市防災研究協議会（経済）

開催日時：平成26年3月12日（水）14:00～16:00

開催場所：関西大学東京センター

議事次第・発表者

- ① 京都大学防災研究所 教授 林 春男
「挨拶ならびに検討会の趣旨」
- ② 一橋大学政策大学院 教授 佐藤主光
「地震保険制度：財務省WGの検討成果ならびに地震保険の加入行動に関する研究成果から」
- ③ 全体討議

4.2 都市防災研究協議会（政策）

阪神・淡路大震災や東日本大震災等を通じて、巨大災害に対する大都市の脆弱性の克服が重要な課題となっている。そこで、この課題解決に資するため、巨大災害対策法制のあり方について検討する。

4.2.1 第3回都市防災研究協議会（政策）

開催日時：平成25年6月25日（火）13:30～16:00

開催場所：京都大学東京オフィス会議室2・3 品川インターシティ A棟 27階

議事次第・発表者

- ① 京都大学防災研究所 教授 林 春男
「はじめに」
- ② 防衛大学校人文社会学群公共政策学科 准教授 山中倫太郎
「大都市巨大災害と国家緊急権・非常事態法制」
- ③ 全体討議

4.2.2 第4回都市防災研究協議会（政策）

開催日時：平成25年10月31日（木）13:30～16:00

開催場所：京都大学東京オフィス会議室2・3 品川インターシティ A棟 27階

議事次第・発表者

- ① 京都大学防災研究所 教授 林 春男
「はじめに」
- ② 熊本大学法学部 准教授 大脇成昭
「大規模災害時における民間組織等による公共サービスの提供」
- ③ 全体討議

4.2.2 第5回都市防災研究協議会（政策）

開催日時：平成25年12月19日（木）14:00～16:30

開催場所：京都大学東京オフィス会議室2・3 品川インターシティ A棟 27階

議事次第・発表者

- ① 京都大学防災研究所 教授 林 春男
「はじめに」
- ② 名古屋大学大学院法学研究科 教授 愛敬浩二
「立憲主義と国家緊急権」
- ② 全体討議

4.3 都市防災研究協議会（TIEMS）

巨大災害の災害対応では、行政だけでなく民間も含めて災害対応体制の標準化が行われていることが重要である。行政・民間を含めた防災担当職員の災害対応能力の向上を目指し、TIEMS日本支部と共同して、標準的な災害対応体制に関する情報共有のプラットフォームの構築について検討する。

4.3.1 第3回都市防災研究協議会（TIEMS）

開催日時：平成25年5月23日（木）13:00～17:00

開催場所：京都大学東京オフィス会議室1・2・3 品川インターシティA棟27階

議事次第・発表者

- ① 京都大学防災研究所 教授 林 春男
「ISO22320の目的に基づく情報処理～危機が生み出した新しい現実の姿の把握～」
- ② 元・東京消防庁警防部長 佐藤康雄
「福島第一原発事故の放水作業までの道のり～不確かで少ない情報の中における意思決定～」
- ③ ヤフー(株)メディアサービスカンパニー 防災速報サービスマネージャー 高橋義典
「東日本大震災で求められた情報の変遷～これからのネットメディアが果たす役割～」
- ④ 全体討議

4.3.2 第4回都市防災研究協議会（TIEMS）

開催日時：平成25年9月26日（木）13:00～17:10

開催場所：剛堂会館ビル 1階セミナールーム

議事次第・発表者

- ① 京都大学防災研究所 教授 林 春男
「ISO22320が示す連携・調整のあり方～プロセスの構築と目的の設定、情報の共有～」
- ② 陸上幕僚監部防衛部情報通信・研究課長1等陸佐 廣恵次郎
「東日本大震災におけるトモダチ作戦～米軍と自衛隊の連携の仕組み～」
- ③ 名古屋工業大学大学院 教授 渡辺研司
「企業のBCPおよび官民協働における連携調整のあり方～レイヤーをつなぐ連携の手法～」
- ④ 全体討議

4.3.3 第5回都市防災研究協議会（TIEMS）

開催日時：平成26年1月24日（金）13:00～17:00

開催場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター9F ホール9A

議事次第・発表者

- ① 京都大学防災研究所 教授 林 春男
「ISO22320における指揮調整について」
- ② 岩手大学地域防災研究センター 教授 越野修三
「3.11岩手県における災害対応と指揮調整の実際」
- ③ (株)ゼン&アイHLDGS 総務部グループ 渉外シニアオフィサー(株)イトーヨーカ堂 企画室兼務 成田庄二
「3.11の対応とBCPにおける調整の重要性～もうひとつのライフラインの構築に向けて～」
- ④ 全体討議

4.4 全体ワークショップ

4.4.1 第3回全体ワークショップ

開催日時：平成25年8月26日（月）13:00～16:50 27日（火）10:00～17:00

開催場所：全国町村会館ホールA

議事次第・発表者

8月26日

12:00 開場

13:00 開会

文部科学省あいさつ

文部科学省地震・防災研究課防災科学技術推進室 清水乙彦

全体ワークショップでめざすこと

京都大学防災研究所 林 春男

13:20 都市地震防災ジオポータルの開発

京都大学防災研究所 鈴木進吾

13:35 広域版地震被害想定システムと防災情報のマッシュアップ

総務省消防研究センター 細川直史

13:50 関西圏における大規模災害復興事例の分析

関西大学社会安全学部 越山健治

14:05 災害リスクと土地利用のあり方に関する研究-中間報告-

名古屋大学減災連携研究センター 廣井 悠

14:20 WebEOCに関する進捗報告

NTTセキュアプラットフォーム研究所 前田裕二

14:35 ジオポータルと Web EOC に関する討論

15:20 被災者ニーズを踏まえたライフライン被害・復旧情報の体系化

岐阜大学工学部 能島暢呂

15:35 既往地震におけるライフライン施設・機能の被害・復旧データの分析：上水道システム及び橋梁（津波被害）

筑波大学システム情報系 庄司 学

16:50 被災者ニーズを踏まえたライフライン被害・復旧情報の体系化・H24 進捗状況と今後の検討内容について-

千葉大学大学院工学研究科 丸山喜久

16:05 南海トラフ巨大地震に対するライフラインの被害・復旧予測について

鹿島建設株式会社技術研究所 永田 茂

16:20 ライフラインに関する討論

16:50 終了

8月27日

9:30 開場

10:00 防災リテラシー向上のための問題抽出およびトレーニングプログラムの提案・開発 -平成25年度 第一回 作業部会

岩手医科大学医学部救急医学講座 秋富慎司

10:15 マイクロメディアサービスにおけるマッシュアップ・双方向インタラクシ
ョン技術の開発

独立行政法人産業技術総合研究所 野田五十樹

- 10:30 大規模災害に耐え得る防災法制・体制の確立
大分大学教育福祉科学部 山崎栄一
- 10:45 大規模都市災害からの経済回復 -都市防災研究協議会（経済）-
関西大学社会安全学部 永松伸吾
- 11:00 危機管理システムの標準化を目指して ISO22320
京都大学防災研究所 牧 紀男
- 11:15 都市の脆弱性軽減のためのマイクロメディアサービスプロトタイプ版の開発
新潟大学災害・復興科学研究所 井ノ口宗成
- 11:30 マイクロメディアサービスと都市防災研究協議会に関する討論
- 13:20 防災リテラシーハブの現状と今後
兵庫県立大学環境人間学部 木村玲欧
- 13:35 生活再建支援システムに関する教育・訓練システムの開発
新潟大学危機管理室 田村圭子
- 13:50 防災リテラシーハブ・コンテンツ開発と活用
インターリスク総研総合企画部 堀江 啓
- 14:05 建物被害調査に関する教育・訓練システムの開発
常葉大学大学院環境防災研究科 田中 聡
- 14:20 防災リテラシーハブに関する討論
- 15:05 新宿駅西口エリアを対象とした震災時の効果的な建物被害対応の検討
鱒沢工学研究所 鱒沢 曜
- 15:20 中心市街地における効率的な災害対応能力向上手法に関する研究
工学院大学建築学部 久田嘉章
- 15:35 訓練・人材育成に関する討論
- 16:05 総合討論
- 16:55 今後のスケジュール・事務連絡
- 17:00 終了

4.4.2 第4回全体ワークショップ

開催日時：平成26年1月22日（水）14:00～16:30 1月23日（木）10:00～16:00

開催場所：神戸国際会議場 5F 501号室

議事次第・発表者

1月22日

14:00～14:10 開会挨拶

関西大学社会安全研究センター センター長・教授 河田恵昭

14:10～15:10 「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策

関西大学社会安全研究センター センター長・教授 河田恵昭

15:10～16:10 都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト「3. 都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究」

京都大学防災研究所 教授 林 春男

16:10～16:30 質疑応答

1月23日

- 10:00～10:40 液状化の諸問題と大阪市域の液状化危険度
京都大学 名誉教授 岡二三生
- 10:40～11:20 未曾有の規模のライフライン被害をどう乗り越えるか？
岐阜大学工学部 教授 能島暢呂
- 11:20～12:00 復興から発想する広域巨大災害への取り組み
明治大学政治経済学研究科 教授 中林一樹
- 13:00～13:40 中心市街地における災害対応能力向上のための教育・訓練と新宿
駅周辺地域への適用
工学院大学建築学部 教授 久田嘉章
- 13:40～14:20 東日本大震災での被害実態と復興状況の報告
－南海トラフ地震津波対策に向けて
東北大学災害科学国際研究所 教授 今村文彦
- 14:20～15:00 効果的な防災行動を支えるマイクロメディアサービスの可能性
新潟大学 災害・復興科学研究所 助教 井ノ口宗成
- 15:00～16:00
パネルディスカッション
モデレーター：関西大学社会安全研究センター センター長・教授 河田恵昭
パネリスト：話題提供者全員
- 16:00 閉会挨拶 京都大学防災研究所 教授 林 春男

4.5 成果発表会

4.5.1 第2回成果発表会

日時：2014年2月28日(金) 10時～16時30分

場所：帝国ホテル東京 本館4階 桜の間

主催：都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト

「都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究」チーム

次第・発表者

9:30 開場

総合司会：東京大学生産技術研究所 教授 目黒公郎

新潟大学危機管理室 教授 田村圭子

10:00-10:10 開会挨拶

文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課 課長 森澤敏哉

10:10-10:30 都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究の目指すもの
京都大学防災研究所 教授 林 春男

10:30-10:55 関西圏都市復興の過去から未来への展開
関西大学社会安全学部 准教授 越山健治

10:55-11:20 中京圏の都市災害に関するデータ分析
名古屋大学減災連携研究センター 准教授 廣井 悠

11:20-11:45 東北地方太平洋沖地震における仙台市の配水管被害分析
千葉大学大学院工学研究科 准教授 丸山喜久

11:45-12:10 東北地方太平洋沖地震津波で被災したライフライン構造物の被災分析とその適用
筑波大学システム情報系 准教授 庄司 学

今年の注目研究

13:10-14:10 マイクロメディア活用のための情報技術ボランティアコミュニティ育成
産業技術総合研究所サービス工学研究センター 研究チーム長 野田五十樹

14:10-14:35 地域防災計画のブレークスルー
東京大学生産技術研究所 助教 沼田宗純

14:45-15:10 災害時の Logistics 構築のための ICS 導入の必要性と課題
岩手医科大学医学部救急医学講座 助教 秋富慎司

15:10-15:35 非木造を中心とする建物被害調査システムの検討
常葉大学大学院環境防災研究科 教授 田中 聡

15:45-16:25 総合討論
モデレータ：京都大学防災研究所 教授 林 春男
討論者：司会者＋発表者＋聴衆

16:25-16:30 閉会挨拶

4.6 サブプロ間連携

4.6.1 サブプロ1との連携

サブプロ①運営委員会等にサブプロ③からも委員として参加し、理学・工学・社会科学の連携・接点を議論している。特にサブプロ①における「地震動・地震応答の大規模数値解析法」「その結果の先端可視化技術の開発」等に関して、サブプロ③の「ジオポータル開発」「防災リテラシーハブの研修・訓練プログラム」との連携可能性を模索し、担当者間の研究協力会議を開催している。

4.6.1.1 研究協力会議

開催日時：平成 24 年 1 月 6 日（月）16:40～21:00

開催場所：東京工業大学 大岡山キャンパス

議事次第

- ① 東京工業大学大学院情報理工学研究科 教授 廣瀬 壮一、教授 盛川 仁
「3Dシミュレーションの活用方向性」
- ② 東京大学地震研究所 教授 堀 宗朗
「数値計算によるシミュレーションの可能性」
- ③ 京都大学防災研究所 助教 鈴木 進吾
「ジオ・ポータルシステムのコラボレーションの可能性」
- ④ 消防庁消防大学校消防研究センター 地域連携企画担当部長 細川 直史
「火災シミュレーションシステムのコラボレーションの可能性」
- ⑤ 兵庫県立大学環境人間学部 准教授 木村 玲欧
「サブプロ①-③間の連携可能性」
- ⑥ 全体討論

4.6.2 サブプロ2との連携

都市の集合住宅などの大規模な非木造建物が被災した際の、建物被害調査の方法について、センサーからの損傷程度の評価結果と目視による建物内部の被害調査結果を統合して、建物の安全性や使用継続性など建物被災度の評価方法について検討する。

4.6.2.1 第7回研究運営委員会

開催日時：平成25年7月3日（水）14:00～17:00

開催場所：建築会館 304会議室

議事次第

- ① 前回議事録確認
- ② 今年度の業務計画
- ③ 分科会報告（今年度研究計画等）
- ④ 昨年度報告書作成状況と今年度報告書イメージ
- ⑤ 研究成果の社会還元方策

4.6.2.2 第8回研究運営委員会

開催日時：平成25年10月18日（金）14:00～17:00

開催場所：建築会館 304会議室

議事次第

- ① 前回議事録確認
- ② 分科会報告（今年度研究計画等）
- ③ 鉄骨造建物の崩壊余裕度定量化・実験の公開に関して
- ④ 研究成果の社会還元方策

4.6.2.3 第9回研究運営委員会

開催日時：平成25年12月25日（水）14:00～17:00

開催場所：建築会館 304 会議室

議事次第

- ① 前回議事録確認
- ② 鉄骨造建物の崩壊余裕度定量化・実験（速報）
- ③ 分科会報告（進捗状況および次年度以降の実験・計測計画等）
- ④ 研究成果の社会還元～最終成果に向けて

4.6.2.4 第10回研究運営委員会

開催日時：平成26年3月7日（金）14:00～17:00

開催場所：建築会館 304 会議室

議事次第

- ① 前回議事録確認
- ② 分科会報告（今年度研究実施状況と来年度研究計画）
- ③ 来年度業務計画とスケジュールについて
- ④ 成果展開の実績と予定

4.7 対外発表

4.7.1 成果の論文発表・口頭発表等

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
Building Urban Resilience Geo-portal Online（口頭）	Shingo Suzuki	VISES Workshop	2013年10月	国際
災害対応の可能性と課題（口頭）	越山健治	明治大学（都市計画学会防災部会シンポジウム）	2013年12月7日	国内
供給系ライフラインの地震時機能評価モデルの改良と再検証－東日本大震災を対象とした都道府県別評価－（口頭）	能島暢呂，加藤宏紀	第5回相互連関を考慮したライフライン減災対策に関するシンポジウム（土木学会）（東京）	2013年12月	国内
仙台市における地震動強さと配水管被害率に関する分析（口頭）	丸山喜久，伊藤智大，若松加寿江，永田茂	平成25年度全国会議（水道研究発表会）講演集（郡山市）	2013年10月	国内
東北地方太平洋沖地震で被災した茨城県潮来市日の出地区及び神栖市の配水管網の被害分析（口頭）	庄司学，築地拓哉，寺嶋黎，永田茂，丸山喜久	平成25年度全国会議（水道研究発表会）講演集（郡山市）	2013年10月	国内
津波作用を受ける道路橋の被害率曲線の構築とその利活用（口頭）	中村友治，庄司学，高橋和慎，石川尚樹	地域安全学会 東日本大震災特別論文集（大船渡市）	2013年9月	国内
東日本大震災における丘陵地の造成宅地の配水管被害分析（口頭）	永田茂，若松和寿江，丸山喜久	平成25年度全国会議（水道研究発表会）講演集（郡山市）	2013年10月	国内
東日本大震災におけるいわき市の復旧過程の分析（口頭）	則政康三，熊谷涼，永田茂，庄司学	平成25年度全国会議（水道研究発表会）講演集（郡山市）	2013年10月	国内
Damage Assessment on Water Supply Systems Subjected to an Extreme Ground Motion and Induced Liquefaction	Tsukiji, T. and Shoji, G.	Proc. of the Second International Symposium on Earthquake Engineering, JAEE	2013年11月	国際
タクシープローブとVICSの相関性に基づく自然災害時の道路交通状況の予測	羽深裕希，丸山喜久，胡内健一	地域安全学会論文集，No.21, pp. 37-44	2013年11月	国内
Development of Prototype Mobile	Munenari Inoguchi,	The Ocean Resort,	2013年7月1日	国際

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
Application for Micro-media Service - A Case Study of Estimated Tsunami Disaster in Niigata, Japan - (口頭)	Keiko Tamura, Satomi Sudo, Haruo Hayashi	Yeosu, Korea (The 28th International Technical Conference on Circuits/Systems, Computers and Communications)		
防災支援に向けた地域コミュニティ活用に関する研究 (口頭)	小川祐樹、野田五十樹、鳥海不二夫、山本仁志、後藤真太郎、和崎宏、五味壮平	2013年度人工知能学会全国大会	2013年6月5日	国内
防災におけるICTの可能性と課題 (口頭)	野田五十樹	第5回 東京大学システム創成学学術講演会「ネットワークの威力」	2013年12月6日	国内
情報学と防災学の連携 (口頭)	野田五十樹	第9回ワークショップ「災害を観る」	2014年2月19日	国内
防災ITコミュニティの育成について (口頭)	野田五十樹、江渡浩一朗、小島一浩	電子情報通信学会・地域安全学会 減災情報システム第1回合同研究会	2014年3月21日	国内
減災ソフトウェア開発に関わる一日会議の報告	江渡浩一郎	WISS2013	2013年12月4日	国内
災害対策法制の見直しと課題 (口頭)	武田文男	平成25年度第3回災害対応研究会	2013年10月25日	国内
災害対策基本法の改正と課題 (口頭)	武田文男	平成25年度第5回京都大学総合防災セミナー	2014年1月7日	国内
災害対策法制の見直しと地域防災の課題 (口頭)	武田文男	第18回震災対策技術展	2014年2月6日	国内
日本の被災者支援制度:歴史的な分析と将来的予測 (口頭)	山崎栄一	2013年度日本法社会学会学術大会	2013年5月12日	国内
自然災害と被災者支援	山崎栄一	日本評論社	2013年9月	国内
自治体の個人情報保護と共有の実務	山崎栄一 (共著者:岡本正 板倉陽一郎)	ぎょうせい	2013年10月	国内
第8章 災害対策基本法の見直し	山崎栄一	関西大学社会安全学部編『防災・減災のための社会安全学』ミネルヴァ書房	2014年3月	国内
2012年京都府南部豪雨災害時の宇治市の災害対応-地域防災計画に求められる内容と災害対策本部業務への示唆-	牧紀男、林春男	地域安全学会論文集 No. 22, 2014. 3	2014年3月	国内
災害時における情報処理と意思決定	牧紀男	リスク対策.COM	2013年7月25日	国内
危機対応における組織間連携のあり方	牧紀男	リスク対策.COM	2013年11月25日	国内
指揮調整のあり方	牧紀男	リスク対策.COM	2014年3月25日	国内
Emergency Employment after the Great East Japan Earthquake: A Region-Wide Analysis (ポスター)	Tetsuya Torayashik and Shingo Nagamatsu	38 th Annual Natural Hazard Research Workshop, Colorado, Boulder	2013年7月13日～16日	国際
防災・災害対応学習～防災リテラシーハブ (口頭)	木村玲欧	第9回ワークショップ「災害を観る」	2014年2月	国内
超高層ビル街における災害時の建物被害確認と情報集約に関する研究 (口頭)	鱒沢曜、久田嘉章、田中聡、宮村正光、諏訪仁、飯塚章仁	日本地震工学会大会	2013年11月	国内
超高層建築における地震後の建物被害確認と情報集約について (ポスター)	飯塚章仁、鱒沢曜、久田嘉章、宮村正光、諏訪仁	社会貢献学会第4回大会	2013年11月	国内
超高層ビル街における地震後の傷病者への対応、建物の被害確認と継続使用性判定	久田嘉章、村上正浩、宮村正光、鱒沢曜、諏訪仁、新	日本建築学会2013年度大会	2013年8月	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
に関する研究 その1:新宿駅西口地域における取組みの概要(口頭)	藤淳			
超高層ビル街における地震後の傷病者対応、建物の被害確認と即時使用性判定に関する研究 その2:建物内および地域の医療救護所における傷病者対応(口頭)	鱒沢曜、久田嘉章	日本建築学会2013年度大会	2013年8月	国内
超高層ビル街における地震後の傷病者対応、建物の被害確認と即時使用性判定に関する研究 その3:テナント事業者による建物被害確認と情報集約(口頭)	飯塚章仁、鱒沢曜、久田嘉章、宮村正光、諏訪仁	日本建築学会2013年度大会	2013年8月	国内
超高層ビル街における地震後の傷病者対応、建物の被害確認と即時使用性判定に関する研究 その4:建物管理者による即時使用性判定(口頭)	宮村正光、諏訪仁、久田嘉章、村上正浩、鱒沢曜、飯塚章仁	日本建築学会2013年度大会	2013年8月	国内
地域防災拠点としての大学を目指して(口頭)	村上正浩、久田嘉章	日本建築学会2013年度大会	2013年8月	国内
新宿駅周辺地域におけるエリア防災の取組 その1:建物即時使用性の判定と多数傷病者への対応	鱒沢曜、諏訪仁	公開研究会「大地震から巨大都市(首都)をどう守るかー東日本大震災の経験を踏まえた建物・まちの対策ー」、pp.40-48	2013年12月	国内
新宿駅周辺地域におけるエリア防災の取組 その2:都市再生安全確保計画と今後の課題	村上正浩	公開研究会「大地震から巨大都市(首都)をどう守るかー東日本大震災の経験を踏まえた建物・まちの対策ー」、pp.49-56	2013年12月	国内
大学を地域防災拠点とした防災・減災の取り組み	村上正浩	日本地震工学会誌、19号、pp.5-8	2013年6月	国内
東京新時代へ⑥、都知事選識者に聞く「逃げずに済むまちづくりを」	久田嘉章	都政新報	2014年2月4日	国内
天神の防災語る勉強会「企業の技術 結集を」	村上正浩	西日本新聞 朝刊	2014年1月15日	国内
首都直下地震・被害想定「路線転換」(コメント掲載)	久田嘉章	合併増刊号AERA	2014年1月6日	国内
首都直下地震 被害想定中 中枢マヒ官民で防ぐ 省庁業務継続計画「合格」わずか対策待ったなし	村上正浩	読売新聞 朝刊	2013年12月20日	国内
長周期地震動による超高層建物の揺れや対策についてコメント	久田嘉章	読売新聞	2013年5月21日	国内
南海トラフ巨大地震による超高層建築の揺れと対策についてコメント	久田嘉章	NHKニュース7	2013年5月1日	国内
被災者生活再建支援業務の要件同定を目指した「岩手県被災者台帳」における7市町村の業務データ実態解析	田村 圭子, 井ノ口 宗成, 濱本 両太, 菊地 真司, 林 春男	地域安全学会論文集 No.22	2014年3月	国内
タブレット端末を活用した空間情報を基礎とする調査の可能性ー平成25年台風18号災害を事例としてー	井ノ口 宗成・田村 圭子・林 春男	電子情報通信学会 第4回「安全・安心な生活のための情報通信システム研究会」梗概集,	2013年12月	国内
台風18号 被害認定オンライン調査 現地の携帯端末データ直接入力	井ノ口 宗成	読売新聞	2013年9月27日	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
福知山市 被害認定に電子システム	井ノ口 宗成	毎日新聞	2013年9月27日	国内
浸水調査 タブレット活躍	井ノ口 宗成	朝日新聞	2013年9月27日	国内
台風18号床上浸水被害認定調査 福知山市、タブレット活用	井ノ口 宗成	産経新聞	2013年9月27日	国内
台風18号豪雨 被害認定オンライン調査 福知山市 認定へ迅速化	井ノ口 宗成	京都新聞	2013年9月27日	国内
激増する自然災害 命と生活を守るリスクマネジメント「現場支援で生まれた生活再建支援システム	田村 圭子	FPジャーナル3月号	2014年3月1日	国内
地域防災計画の見直しに向けた東日本大震災における福島県矢吹町における課題の整理（口頭）	沼田宗純・目黒公郎	日本地震工学会第10回年次大会	2013年11月11日	国内
ランニングスペクトル解析による災害状況進展過程の可視化システムの開発-福島民報を事例にした基礎的検討-	沼田宗純、目黒公郎	土木学会論文集A1（構造・地震工学）Vol. 69, No. 4, pp. 852-860	2013年6月19日	国内
東日本大震災2年半 現状を伝え続ける 今後の震災報道とは TBSレビュー	沼田宗純	TBS	2013年10月27日	国内
New Japanese Disaster Management Policy	H. Hayashi, K. Tamura, Y. Kawata	38th Annual Natural Hazards Research and Applications Workshop	2013年7月15日	国際
Special Issue on “Urban Resilience” for Mega Earthquake Disasters	Haruo Hayashi and Shingo Suzuki	Journal of Disaster Research, vol.9 No.2	2014年3月	国際
Modification and Validation of an Assessment Model of Post-Earthquake Lifeline Serviceability Based on the Great East Japan Earthquake Disaster	Nobuoto Nojima and Hiroki Kato	Journal of Disaster Research, vol.9 No.2	2014年3月	国際
Development of Damage Functions on Road Infrastructures Subjected to Extreme Ground Excitations by Analyzing Damage in the 2011 off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake	Gaku Shoji and Tomoharu Nakamura	Journal of Disaster Research, vol.9 No.2	2014年3月	国際
Development of Urban Resilience GeoPortal Online for the Better Understanding of Disaster Scenarios	Shingo Suzuki, Haruo Hayashi and Masafumi Hosokawa	Journal of Disaster Research, vol.9 No.2	2014年3月	国際
Implementation of Prototype Mobile Application Operated on Smartphones for Micromedia Service	Munenari Inoguchi, Keiko Tamura, Satomi Sudo, and Haruo Hayashi	Journal of Disaster Research, vol.9 No.2	2014年3月	国際
Macro Analysis of Initial Responses from Yabuki Municipal Government After the 2011 Tohoku Earthquake	Muneyoshi Numada and Kimiro Meguro	Journal of Disaster Research, vol.9 No.2	2014年3月	国際
Are Cash for Work (CFW) Programs Effective to Promote Disaster Recovery? Evidence from the Case of Fukushima Prefecture	Shingo Nagamatsu	Journal of Disaster Research, vol.9 No.2	2014年3月	国際
Systematization and Sharing of Disaster Management Literacy by DMLH	Reo Kimura, Haruo Hayashi, Shingo Suzuki, Kosuke Kobayashi,	Journal of Disaster Research, vol.9 No.2	2014年3月	国際

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
	Kenshin Urabe, and Takahiro Nishino			
Development of Training System for Building Damage Assessment Using Actual Buildings	Satoshi Tanaka and Kishie Shigekawa	Journal of Disaster Research, vol.9 No.2	2014年3月	国際
How Can We Collect and Summarize Information About Emergency Response Operations?	Norio Maki,	Journal of Disaster Research, vol.9 No.2	2014年3月	国際
A Fundamental Study of Efficiency of Information Processing in Emergency Operations Center	Fumiaki Ichinose, Yuji Maeda, Naoko Kosaka, Mitsuhiro Higashida, Masahiro Sugiyama, Hideaki Takeda, Tomomi Yamamoto, and Haruo Hayashi	Journal of Disaster Research, vol.9 No.2	2014年3月	国際
Practice on an Education and Training Program to Development of Response Literacy to Earthquake Disaster in a Central Business District in Japan	Yoe Masuzawa, Yoshiaki Hisada, Masahiro Murakami, Jun Shindo, Masamitsu Miyamura, Hitoshi Suwa, Satoshi Tanaka, Kaoru Mizukoshi, and Yosuke Nakajima	Journal of Disaster Research, vol.9 No.2	2014年3月	国際

4.7.2 特許出願，ソフトウェア開発，仕様・標準等の策定等

4.7.2.1 特許出願

・なし

4.7.2.2 ソフトウェア開発

・なし

4.7.2.3 仕様・標準等の策定

・なし